

## 神戸大学出版会が発足

内田一徳 理事・副学長  
(広報・社会連携担当)

今日、インターネットをはじめとする高度情報化の社会にあつて、人類史上かつてない変革の時代を迎えています。瞬時に世界の情報を得ることが可能になり、さらには人間の営みそのものが自動化・省力化される趨勢の中で、情報の洪水から真に必要な情報を選択する技能と、新たな知見を再構築する創造的な能力が求められています。

そうした中で、日本の出版界も大きな変化の時期にあり、電子書籍の出現などメディアの発展に伴って出版流通そのものが影響を受け、国内の出版点数は増えているにも関わらず、出版社や書店の数が著しく減少しています。特に学術図書の刊行は、採算上の理由から困難な状況にあり、優秀な研究者に対して図書出版の機会を拡大することで、学問の創造的な発展を促進し、専門知の社会への還元を積極的に支援していくことが重要な課題となっています。

『真摯・自由・協同』の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する『知』を創造することを使命として掲げる神戸大学は、このような状況に鑑み、学術図書・教科書・一般教養書などの刊行を通して、神戸大学の教育研究を推進し、その成果を社会に広く普及するために、神戸大学出版会を設立することとしました。印刷物の出版のみならず、電子媒体での提供も視野に入れながら、情報化社会における書籍出版や、学術情報流通のよりよい発展に貢献することを目指します。この出版会の事業が、地域の文化を潤し、日本の文化の振興と、世界の学術の発展に寄与することを期する次第です。

名 称 神戸大学出版会 (Kobe University Press)

設 立 平成29年4月1日

出版会設立の目的 本学における教育研究を推進し、その成果を社会に広く普及することにより、学術の発展と文化の振興に寄与する。

事業概要 (1) 研究の成果としての学術図書の刊行  
(2) 効果的な教育の実施に資するための教科書の刊行  
(3) 学術文化の振興に資する一般教養書の刊行  
(4) その他出版会設立の目的を達成するために必要な事業